

に積分した1次元の情報しか得られない。従って2次元の図を得るにはこれら1次元の情報を何らかの処理をして作るのであるが、1次元情報としてフーリエ成分を得ている場にはそれらを天球に対する角度で2次元に並べて逆フーリエ変換をすればよく（フーリエ変換法）一般にはこの方法が用いられる。しかしながら天球に対する角度の散らばり具合が十分でない場合には代数的再生法の方がいい図が得られる。その方法は次の様である。つまり今天球に対し図7で1, 2, 3の様な方向で1次元の図が得られているとする、このときまず1の強度を図面上でAの方向へ一様に配分する。次には2の方向へ積分してみて2のデータと合うかどうかを見て次に、その差の分を図面上でBの方向へ一様に配分する。このさい図面上で負値となる部分の値は0とする（天球の輝度は負値を取らない）、さて次には3の方向へ積分して又差を取ってもどすのである。これを繰り返して1, 2, 3いずれの方向から見てもデータと合う様にするのである。

4. おわりに

ソフトウェアを主体とする像処理の問題はあくまでもハードウェアの不足分を補うものである。結局のところ0を付加する場合も含めて見てもしないフーリエ成分を付加しているのであるから、無限にある推定される解の中からある仮定の下に1つだけを選び出しているのである。従ってこうらしいとは思ってもこうだとは言えないのであり、そこに大きな問題がある。しかしいつになってもその先を見てみたい人の心はあるであろうから、ハードウェアで取ったデータがソフトウェアの像処理を必要としなくなることはないであろう。

学会だより I

昭和55年度科学研究費補助金分配審査委員候補者

日本学術会議研究費委員会より標記の件について推薦の依頼がありましたので、本学会として評議員の書面投票により下記の方々を推薦いたしました。

第1段審査委員候補者：高窪啓弥、加藤正二、内田豊
第2段審査委員候補者：川口市郎、末元善三郎

文部省はこの推薦にもとづいて第1段審査委員2名、第2段審査委員1名を任命します。なお第1段審査委員には海野和三郎氏が任期1年を残しております。

☆ ☆ ☆

丸善の出版書

理科年表

●一頁一頁から新しい発見を!!

55年版

A 東京
6 天文台
8 /
6 0 円 編

科学研究に欠かすことのできない基礎データを
暦・天文・気象・物理化学・地学の各分野にわ
たって完全に集約。身近に置けるデータバンク
として実務から趣味まで幅広く活用できます。

改訂のポイント

55年版では、暗黒星雲などを含めた最近の銀河系の研究進展に相俟って、銀河の項が全面改訂されており、こぎつね座の新星状天体、X線衛星「はくちょう」など最新のトピックスも追加されています。また、地震の項では日本各地における有感地震回数表を追加し、地震観測システムを含めた地震予知の現況を示しています。

丸善
出版部

[〒103] 東京都中央区日本橋3-9-2 第二丸善ビル
☎(03)272-7211